

【準備物】

- (1) 乾モルクイック
- (2) 水（水道水か飲料水） ※有機物不純物や酸性物質を含む水はセメントの水和を阻害するため適しません
- (3) プライマー（必要な場合）※市販品で可
- (4) 練り混ぜ容器（トロ箱、ペール缶）
- (5) ミキサー（モルタルミキサー、ハンドミキサー）
- (6) 水ため容器（ドラム缶、バケツ）
- (7) 計量容器（小バケツ）
- (8) 鋤 ※その他は工法と工事規模に応じた工具、機械を用意します

【前工程】

1. 下地処理

下地がコンクリートやモルタルの場合は、下地表面のレイタンスと汚れをワイヤーブラシ等を用いて完全に除去し、掃除します。

2. 水湿し

- ・下地のコンクリートやモルタルが吸水しなくなるまで十分に水湿しを行ってください。
- ・水湿しの代わりにプライマーを塗布する場合は、市販プライマー用樹脂（固形分45%）を水で3～4倍に希釈し、刷毛で塗布しておきます。この時、プライマーが完全に乾いてから乾モルクイックを塗り付けないとプライマーの効果が出ません。

【練り混ぜ】

- ・モルタルミキサーで練り混ぜる場合は、本製品をモルタルミキサーに入れ、ミキサーを回転させながら清浄な水を所定量加え、希望する軟らかさになる様に本製品と水の量を調整してむら無く練り混ぜます。
- ・ハンドミキサーで練り混ぜる場合は、練り混ぜ容器に所定量の清浄な水を入れ、本製品の半分を入れて練り混ぜます。よく練り混ぜたら本製品の残りの半分を入れ、さらによく練り混ぜます。

※水以外の物は絶対に混ぜないでください。

※練足しはしないでください。

※手早く混ぜてください。

【施工】

●塗り付け

始めに鑊圧をかけてシゴキ塗りし、追っかけて所定の厚さに塗り付けます。
一度に塗り付ける厚さは7～10mm程度とし、それ以上の厚さに塗る場合は
付け送りして所定の厚さにします。

＜注意事項＞

可使時間内に施工を完了してください。

可使時間は練り上がり温度によって変わります。下記の表をご参照ください。

練り上がり温度	製品名	乾モルクイック QR15	乾モルクイック QR30
10℃		60分	90分
20℃		15分	30分
30℃		5分	15分

【養生】

施工が完了したら乾燥や凍結を防止し、適温・適湿な状態で養生します。

※3時間後には実用強度が発現します。

※温度により可使時間が変わります。必要に応じ事前に試験してください。